

できる・できる・できる

校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和3年 7月 1日

No.18

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

命を守ることを考える

以前、私が「命の講話」で聞いた話をご紹介します。講師は、NPO 法人おなかの赤ちゃんヘルプラインの吉松真理子先生です。(講話当時の役職)

「お母さんは命がけであなたを産みました。」でも、「**赤ちゃんが生まれる3つの力**」があります。

それは、「お母さんの頑張る力」、「赤ちゃんの頑張る力」、「家族の支える力」です。

お母さんの“やったー”という喜びと、ぶっつけ本番で「親」になり、育児書通りにいかない子育てに奮闘する日々。

あなたが2歳(第1いやいや期)になり、「お母さんの願いベスト3は？」と聞かれたら、

第1位 ゆっくりトイレがしたい。

第2位 ゆっくり寝たい。

第3位 ゆっくり食事がしたい。と答えるでしょう。

当たり前の生活ができないときが子育て時期にあります。でも、あなたを育てることは、何ものにも替えることができないほど嬉しいことです。

反抗と甘えを繰り返す“思春期”(第2いやいや期)は、一番体が成長する時。しかし、思春期の心は体の成長に追いついていけずにフワフワしている。「誰か分かって!」「誰かと繋がっていないと不安」だから安易にネットの世界に入り込む。

心を鍛える場(学校)・心を癒やす場(家庭)

「心のもの差しづくり」をしてほしい。有名サッカー選手も、技術を磨く前に、まずは、自分の心のもの差しづくりから始めています。

「お母さんはあなたを命がけで守り、命がけで産むことができた。」それはなぜなのか。

産む大変さよりも、何十倍も“喜び”の方が勝るから

親が子を思う愛情以上に、子が親を思う愛情はとても深い。世の中には“産まれる命”もあれば、その逆もある。一つだけはっきりと言えるのは、

あなたは望まれて生まれ、産んだことを後悔する母親はいませんだから、

生きているだけで100点満点!

と、話をまとめられました。私の心の中にも余韻の残る内容で、とても感動を覚えました。

ぜひ、ご家庭でも「命」についてお話しください。

ココロねっこ運動強調月間

毎年7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」で、「最重点課題等」に基づき、様々な取組みがなされています。長崎県でも7月を「ココロねっこ運動強調月間」と位置づけて、7月1日(木)～7月31日(土)までの期間、家庭・学校・地域社会・行政が一体となり青少年の健全育成と環境浄化を目的とした「ココロねっこ運動」を集中的に実施し、県民の方々への更なる普及と実践を目指しています。「**全国強調月間の最重点課題等**」をご紹介します。

- ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止
- 有害環境への適切な対応
- 薬物乱用対策の推進
- 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止
- 再非行(犯罪)の防止
- いじめ・暴力呼行為等の問題行動への対応

★**7月3日(土)は、道徳の公開授業(生命の尊重)を予定通り実施**します。1学期最後の授業参観です。ぜひ、ご家族でご参観ください。(*~*)

心の種 今回のテーマは「光るいのち」です。

杉浦 誠司さんの著書「夢・ありがとう」に、次のような文章があります。「ひかりつづける、私のいのち。ほんとは、いのちはいつも輝いていないといけな

い。僕はそう思います。いのちの光がどんな輝き方をしているかで、人間の質は決まるでしょう。光っていますか?あなたのいのち。」です。

私が考える「光るいのち」とは、歯を食いしばって、懸命に生き抜くことだと思います。

さて、みなさんも「光るいのち」について考えると、右上の「光」という漢字が、「いのち」という文字に見えてきませんか?

